



# くにたち市議会だより



第1回定例会

No.252 令和2(2020)年  
5月5日

発行：国立市議会 編集：広報委員会

国立市富士見台2-47-1

Tel：042-576-2111

Fax：042-576-2205

http://www.city.kunitachi.tokyo.jp/gikai



(PC・スマートフォン専用)

## 赤い三角屋根の旧国立駅舎が 帰ってきました



国立市議会では、今回の3月議会において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、全議員による一般質問の取りやめ、予算特別委員会は開催せず、本会議において予算を審議し、また、各常任委員会では、陳情の審査と新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関する市の取組状況についての報告及び質疑のみ行うなど、通常の議会より大幅に日程を変更して開催いたしました。(変更後の日程等は、市議会ホームページに掲載)

今後も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止、並びに市職員が対応に専念できることを念頭に、いち早い終息を目指し議会一丸となって取り組んでまいります。

### 6月議会(第2回定例会)の日程(予定)



日	月	火	水	木	金	土
5/24	25	26 請願・陳情 提出締切(正午) 初日手話 通訳締切	27	28	29 議会運営 委員会	30
31	6/1	2	3 本会議 初日	4	5 本会議 一般質問	6
7	8 本会議 一般質問	9 本会議	10 本会議	11	12 総務文教 委員会	13
14	15 建設環境 委員会 最終日手話 通訳締切	16 福祉保険 委員会	17	18	19 議会運営 委員会	20
21	22	23 本会議 最終日	24	25	26	27

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点等から、日程などが変更になることがありますので、ご理解、ご協力をお願いします。なお、変更になった場合は国立市議会ホームページでお知らせいたしますのでご確認ください。

開会時刻：午前10時の予定です。

請願・陳情の提出締切：5月26日(火)正午までに議事事務局へご持参ください。

手話通訳申込の締切：国立市議会では本会議の初日と最終日に、手話通訳者を配置しております。手話通訳を希望される方は、国立市議会ホームページ、又は右QRコードより、議会ウェブサイト「令和2年第2回定例会の手話通訳の申込みについて」をご覧ください。



### 今号のトピックス

- 令和2(2020)年度のすべての予算案を可決しました  
[第14号～第18号議案→3面に結果、4～5面に詳細]
- 学校給食センター建て替えについて新たな検討内容に関する陳情(継続審査分)は不採択となりました [令和元年陳情第34号→2面に詳細]
- 新型コロナウイルス対策事業費を含む令和2年度一般会計補正予算(第1号)案を可決しました [第27号議案→2面に詳細]
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関する市の取組状況について報告がありました [6面に詳細]
- 会計年度任用職員の報酬、勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例案を可決しました [第26号議案→3面に結果]
- 施策等評価委員会条例案を可決しました [第1号議案→3面に結果]
- 種苗法第21条第3項の自家増殖禁止を重く受け止め、新たな施策を求めることに関する陳情が採択されました [陳情第1号→3面に結果]
- 最低賃金の大幅引上げによる生活改善を求める意見書提出に関する陳情が採択されました [陳情第4号→3面に結果]
- 教育委員会委員1名、固定資産評価審査委員会委員1名、総合オンブズマン2名の選任等について同意しました [第28号～第31号議案→3面に結果]
- 2月7日(金)市役所、2月8日(土)北市民プラザにおいて、国立市議会意見交換会を開催しました [8面に詳細]

# 学校給食センター建て替えについて新たな検討内容に関する陳情(継続審査分)は不採択となりました

【総務文教委員会】

【令和元年陳情第34号】

【不採択】

## こんな質疑がありました

Q 調理を民間委託して調理員の入れ替えが頻繁にあった場合、市は情報を把握できるのか。

A 委託した企業との連携が重要。PFI方式で建替えることで子どもに対してのメリットは、

A 国立市の思う給食を、民間企業に実行してもらおう。

Q 民間企業に委託した場合、議会のチェックは働くのか。

A 給食センター自体が市の事業。予算、決算などを議会に通す。

Q 事業者選定のプロセスが現在でも遅れているが、令和5年9月の運営開始に間に合うのか。

A 事業者選定の時間が短くなるが、予定どおり進めていく。

Q 当初定めた要求水準書以外の事を求める場合はどうなるのか。

A 要求水準書内でできる事もあるし、別契約になる事もある。

Q 事業者の選定は、競争原理が働く程度の参加数が見込めるのか。

A 幾つかの事業者に興味を持っていただいている。

Q 前回(2月)からの進展は。

A 立川市の給食センターの視察や予定用地の地盤調査を行った。

Q 今、現場で働く方々は、新給食センターに関わっているのか。

A 要求水準書を作るに当たり、関わってもらっている。

Q 地域の方たちの提案を受け、行政が受け止めたのが国立方式だと思いが、今後は。

A 保護者や運営審議会、献立作成委員会、物資選定委員会の意見をしっかりと聞き取り、反映していくことが第一だが、新給食センターには見学コースなどを作り、市民にも幅広く意見を聞く。

Q 給食を一度止めて、今ある場所に建替える考えはあるのか。

A 給食を止める事はしない。現在の場所での建替は建築基準法の用途地域が違うので難しい。

Q 土地の用途変更をしないで、建替えることは可能か。

A 東京都の建築審査会の許可を受けたうえで、防音対策や脱臭装置などの対策費が億単位でかかるので難しい。

Q 立川、府中市の視察では調理法や方針を決めないと設計は難しいとのことだが、調理部門を切り離すことをどう考えるか。

A 調理の方針や、やり方を決めないと設計はできないと考える。

Q PFIにした場合、調理員に対し、直接栄養士が指示できないとの懸念があるか。

A 栄養士と現場の連携は大切だ。打ち合わせを綿密に行い、栄養士が現場に入り作業を進める。視察した2市でも行っていた。

Q 市が考えるPFI方式は保護者などへの説明で理解されたか。

A 未就学児の保護者を含めて2千人弱、33回の説明会を行ったが、大きな反対はなく早期の新給食センター建設の要望をいただいた。

Q 市内で建設を請け負える技術的な能力がある事業者はいるか。

A 現時点では調査していない。

Q SDGsの視点で食の政策を作り、対応できるような見直しが必要と考えるか。

A 給食センターは食の政策を担う総合拠点ではない。民間に調理を受け持つもらうが、教育委員会が責任を持って、新たな食育政策を進める。

Q 食育のセンターになるように考え直すべきでは。

A 教育委員会が長年取り組んできた学校教育上の課題をここでひっくり返すことはしない。

## こんな討論がありました

反対 PFI方式のメリットは効率的な施設整備や作業環境の創出、民間のノウハウの活用、アレルギー食対応、効率的な維持、費用削減効果と財政負担の平準化がある。調理部門を切り離すのは得策ではない。

賛成 今まで視察や勉強会などを行ったが、調理部門は市直営でできる。利益を追求する企業と市民生活を維持し守ることが使命の自治体では目的が違う。

反対 2市の給食センターを視察し、調理部門を切り離して建設は不可能だとわかった。市職員の栄養士が現場で疑問に感じた場合、直接調理員に指示ができないという点も、視察した両市では問題がなかった。建設が滞ることがないように要望する。

賛成 そもそも自校式の給食設備を主張する。今立ち止まり、子どもたちをどう成長させたいのかビジョンを持つことが重要だ。

反対 給食を止めないで建替えは難しく、現在の場所での建替えは時間がかかりすぎ不可能なことがわかった。今の給食センター建設に保護者だけでなく市民の活発な議論がなされた歴史があるが、ライフスタイルの変化でどう取り組むのかは課題だ。

反対 視察を通じ、PFI方式において調理部門を切り離すことは、利点を無くすことだとわかった。この規模の建設を大手が行うのは仕方がないが、地域業者が関われる分離発注を望む。

# 新型コロナウイルス対策事業費を含む令和2年度一般会計補正予算(第1号)案を可決しました

【第27号議案】 令和2年度国立市一般会計補正予算(第1号)案

【可決】

## こんな質疑がありました

Q 新型コロナウイルス対策事業費の消耗品は、どういった場面、どういう用途で使うのか。

A マスクは備蓄するが、感染の状況に応じて市民や事業所、医療や介護の現場に供出していく。防護服は医療や看護、介護スタッフで今後不足することも想定し用意している。

Q 市長から、市民及び職員に向けてのメッセージは。

A 先ずは、亡くなられた方にお悔やみ申し上げ、闘病されている方にお見舞い申し上げます。市役所は市民の命を守るため、最前線で活動している。不便や不自由をおかけするが、ご理解・ご協力を賜りたい。ご自身の命を守るための3密回避の行動をお願いする。職員には、自分の命を守りながら公務員としての倫理を高く持ち、私と共にこの難局を乗り越えていただきたい。

Q 自粛によりひっ迫している飲食店や小売店などへの融資制度はあるのか。

A 国立市も融資制度がある。東京都のセーフティネット保証や市内の金融機関でも積極的に相談を受けている。市役所においても既存の制度とセーフティネット保証の使い分けなど、より良い形となるようアドバイスをし、対応していく。

Q 今後、感染者が出て、オーバーシユートが起きたときを想定して、医療・福祉・保健が連携しての対策はできているのか。

A 対策本部会議で、今後の状況を踏まえ、それぞれの部門で対策を考えている。いざという時の動きをシミュレーションしている。

Q 新型コロナウイルスに関する情報発信をインターネット以外でも行っているのか。

A 4月5日号の市報の1面に市長のメッセージを掲載し、その他の情報も発信していく。今後局面が変化し、至急お知らせが必要なときには臨時号を出せるかどうか業者と話を進めている。

Q 市民への情報発信は市報以外で何を行っているか。

A 市報の他に市ホームページやSNS等を活用し、市内の主要な掲示板にも掲示している。

Q ごみ処理委託料が庁舎と学校と図書館に限られている理由は。A 古紙の価格が非常に下がったので、業者が買い取りではなく、有償で引き取るようになった。特に量が多い部署に増額補正した。

## こんな討論がありました

賛成 今後も新型コロナウイルス対策をしっかりとやっていたいただきたい。商店街に対して、新型コロナウイルス対策のチラシを配布するなど対応しているが、新型コロナウイルスに関する広報の頻度を上げていただきたい。資源ごみの回収をしている自治会に対しても、古紙の価格に関してアドバイスをお願いする。

賛成 市民に対して、市長・教育長・校長先生からユーザーなどの媒体を使いメッセージをお願いする。市内商業者を守るための対策をお願いする。職員の感染リスクを最大限減らすための予防策をお願いする。

賛成 新型コロナウイルスに対し、迅速に対応するための補正予算である。迅速な対応をする市長のリーダーシップに敬意を表する。職員においても、通常の業務を行いながら緊急な対応を誠実に取り組まれていることに感謝する。

賛成 今後、新型コロナウイルス対応のために臨時会を開き大型補正を行ってもよい。議長・副議長と市当局との連携・情報交換を今後もお願いする。不安を抱えている市民に寄り添い安心していただくためのメッセージを発信し続けていただきたい。

賛成 今後感染が拡大していくことを前提とし、ケアできる体制を整えていただきたい。経済的にひっ迫することが予想される。経済的なセーフティネット・生活保障制度があることをアピールしていただきたい。

賛成 情報過多になる恐れがある。適切で正確な情報発信を様々な媒体を使い、迅速に丁寧にお願する。

賛成 現金給付の対応など市の業務が大変になるが、透明性・多様性の観点を持ち、対応をお願いする。人権に配慮した内容が市ホームページに掲載されたことを高く評価する。教育委員会において、3月に食べられなかった給食費の払い戻しを行っていくと聞き安心した。

賛成 今後も必要な補正予算には協力していく。新型コロナウイルス感染症の影響での離職などへの総合支援金の案内情報をお知らせしてほしい。パートやアルバイトを解雇された方への労務相談などの相談体制を、一定の期間だけでも厚くしていただきたい。

令和2年第1回定例会 各会派の議案等への賛否

○：賛成 ×：反対

Table with columns for 議案番号, 件名, 概要, 会派名 (人数は議長を除く数), and 議決結果. It lists various budget and ordinance proposals with their respective voting results across different political parties.

会派略称 自=自由民主党(青木健・石井伸之(議長)・高柳貴美代・遠藤直弘) 風=社民・ネット・緑と風(藤田貴裕・古濱薫・重松朋宏・関口博) 共=日本共産党(高原幸雄・住友珠美・柏木洋志) 公=公明党(小口俊明・青木淳子・香西貴弘) 新=新しい議会(藤江竜三・石井めぐみ) 立=立憲民主党(柳田美菜子) こ=こぶしの木(上村和子) み=みらいのくになち(望月健一) 樹=樹木の会(石塚陽一) 耕=耕す未来@くになち(小川宏美)

# 令和2(2020)年度の すべての予算案を可決しました



予算の詳細は  
市報4月20日号  
をご覧ください

## 歳入 (質疑)

Q 実施計画の市税はどのように計算しているのか。

A 令和元年度の決算見込み、税制改正による影響や経済の状況等を加味し、令和2年度の市税の見込みを作成した。同様に、令和3年度から令和5年度までの実施計画も、順送りに作成している。

Q 新型コロナウイルスで市税の減収が見込まれるが、過去の市税の減収は。

A リーマンショックのとき、平成20年に法人市民税が約1億2千万円、平成23年に個人市民税が3億4千万円のマイナスだった。

Q 地方消費税交付金が3億6千500万円の増であるが、その使途は。

A 地方消費税交付金のうち、消費税率引き上げに伴う増収分については、社会保障費に充当する。

Q 都市計画事業がなく、都市計画税を基金に積み立ててきた経過がある。都市計画税の税率を引き下げるべきではないか。

A 総務省の通知では、剰余金が数年間生じる状況においては、税率の見直し等の適切な措置を講ずべきものとされている。改定については、今後検討する。

Q 市の都市計画事業を考えると、すぐには計画段階に入らないと思うが、どうか。

A 都市計画税と今後の大きな都市計画事業の関係については、都市計画道路の進捗、南武線の立体交差化等を含め、どういう考えが妥当であるのか整理し、第3回定例会に示したい。

## 歳出 (質疑)

### 総務費

同性パートナーシップ制度導入事業

Q 事実婚を含む広い意味のパートナーシップもあるが、事業名をあえて同性としたのはなぜか。

A 事実婚も含めた制度を検討し、その先として、適切な制度名を示したい。

マイナンバー制度  
Q 市民の自由と人権を守る姿勢で、マイナンバーカードの申請を促す証明書コンビニ交付を凍結してはどうか。

A マイナンバーカードの持つ利便性、有効性を一定程度区分けし、人権等を守りながら対応することが地方行政の責務。

海外都市訪問コーディネート等委託  
Q ルッカ市との友好交流都市協定は具体化するのか。

A 協定締結のための渡航費用で、人的交流、経済交流、特産品の販売、文化交流、芸術交流等を考えていく。

ソーシャルファーム  
Q ソーシャルファームを研究する予算は。

A 政策経営費の中の謝礼や、政策研究事業の講師謝礼に約10万円計上した。引き続き、調査研究する。

Q ソーシャルインクルージョンの具現化を目指し、地域の方とソーシャルファームを研究すべきでは。

A 多くの人と連携しながら、「喫茶わがば」をフィールドとして研究を進めたい。

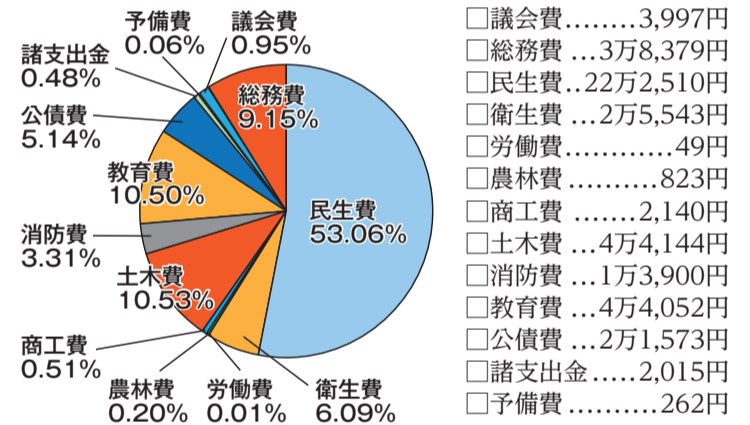
## 令和2年度 一般会計予算案 人口一人あたりの歳入と歳出

※令和2年3月1日現在の人口で計算 (小数点以下四捨五入)

### 歳入

- 市税.....19万7,649円
- 地方譲与税.....1,651円
- 利子割交付金.....289円
- 配当割交付金.....1,561円
- 株式等譲渡所得割交付金...853円
- 法人事業税交付金.....367円
- 地方消費税交付金.....2万1,314円
- 自動車取得税交付金.....0円
- 環境性能割交付金.....393円
- 地方特例交付金.....787円
- 地方交付税.....984円
- 交通安全対策特別交付金...118円
- 分担金及び負担金.....3,543円
- 使用料及び手数料.....9,765円
- 国庫支出金.....7万3,363円
- 都支出金.....6万6,271円
- 財産収入.....1,735円
- 寄附金.....0円
- 繰入金.....1万4,378円
- 繰越金.....2,623円
- 諸収入.....2,855円
- 市債.....1万8,890円

### 歳出



※構成比は四捨五入しているため、100%にならないことがあります。

## 環境政策が足りない。高齢者施策の削り過ぎは健康寿命に影響する 社民・ネット・緑と風 4名 反対

市では節電が効果を上げ、電気の使用量が減っているが、CO2の排出は増えている。これは化石燃料を燃やして作った安い電気を買っているからだ。再生可能エネルギーへシフトするなど環境政策を充実すべき。新給食センターは、調理を含めた一体的なPFIを導入しても実際の効果額は15年間で7千800万円だ。災害時の対応、長期休業中の学童クラブへの配食、適応指導教室への配食など、きめ細かな対応をすべきで、直営か財団方式で行うべき。

高齢者施策はここ何年かで結構削られた。健康寿命を延ばしたいのであれば、高齢者が生活の質を落とさず、自分らしく生きる社会を構築すべき。相談機能の充実、助け合いのシステムに予算が必要。高齢者、しょうがいしゃ、だれもが安心して暮らしていけるよう、ソーシャル・インクルージョンを推進する担当課を置くくらいの対応がある。公立学校の洋式トイレ化率は、80%を達成する。しかし、生活様式の変化や子どもたちのニーズを考えると、これで終わりではない。

## 市民負担増ではなく、住民福祉の拡充を!

日本共産党 3名 反対

永見市長の施政方針において、人権・平和施策を進めるとしているが、市長として政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求めるべきである。また、新規政策予算の約30%が大型開発に使われているが、不要不急の開発事業ではなく、住民福祉に予算を投じるべき。高齢者施策やしょうがい者施策については、政策予算の3~4%程度にしかならず、医療・介護・障がいなどの重要性が高まっているにも関わらず、不十分である。

と言わざるを得ない。新学校給食センターについては、浸水想定地域に建設すべきではない上にPFI方式で費用は抑えられないため、運営は直営で行うべき。また、国保財政健全化計画では目標削減額に達成しない場合、国保税増税が視野に入っており、認められるものではない。国保税の増税ではなく、自治体独自の制度として、均等割の減額ないし免除制度を設けるべきである。

## 令和2年度予算案に対する会派代表討論(要旨)

《会派名簿順に掲載/賛成・反対は一般会計予算案に対して》  
会派の構成人数により討論時間が異なるため、文字数に違いがあります。



## 『国立ブランド』の向上には、さらなるまちづくりを

自由民主党 3名 賛成

すべての予算案に対し賛成する。永見市政任期最後の予算では、これまでの総決算と今後の国立市のまちづくりの骨格が入っている予算になっています。すべての施策や業務にソーシャルインクルージョンの理念を根底に入れ人権を尊重し、お互いの多様性を認め合うまちの実現に向けて施策を進めるとしているところは、永見市長の目指すまちづくりです。また、今年度策定する第5期基本構想第二次基本計画で人口を増加させ、活力あるまちを目指すとしているところは、人口減少

社会の中での果敢な挑戦であり、これを支持します。『国立ブランド』というものが、ブランド疲労しないように、更新と新たな取り組みが必要です。予算には旧国立駅舎施策、富士見台地域重点まちづくり、JR南武線立体交差事業に伴うまちづくり、農の営みが残る谷保の原風景の保全と、国立市全体のまちづくりの施策が強く打ち出されており高く評価します。今回の新型コロナウイルス感染症対策では、職員の献身的な働きへ感謝するとともに、今後の対応をお願いします。

民生費



ひとり親福祉費

Q いずれの事業も利用者数が少ないがその理由は。

A 就労に加え、1人で子育てする生活上の困難を抱えており、制度の利用が難しいのではと考える。

ファミリー・サポート・センター利用助成事業

Q どのように広く多くの方に知ってもらうのか。

A 市報や市ホームページ、チラシ、子育て応援アプリ等で積極的に情報発信していきたい。

子どもの移動支援サービス

Q 子どもの移動支援は親にとっては切実な願いだが、どのような工夫をするのか。

A 移動支援事業所リストを定期的に更新する。空き情報のリストへの掲載は、方法を含め検討したい。

自殺対策計画策定事業

Q 具体的な自殺対策計画は、進んでいるか。

A 自殺対策庁内連絡会を設置し、国立市自殺対策計画策定について、検討してきた。令和2年度では、パブリックコメントを実施し、計画を策定する予定。

衛生費



産後ケア事業

Q 令和2年度から始まる産後ケア事業の内容は。

A 国のガイドラインでは、デイサービス型、宿泊型、アウトリーチ型があり、市では3つ全て実施する。

がん対策

Q がん検診の受診率向上に努めてもらいたい、令和2年

度のがん対策は。

A 対策型がん検診を推進している。令和2年度は、がん検診のあり方を検討する。(仮称)がん検診推進会議を開催するため、報償費を計上した。また、マンモグラフィー車で乳がん検診の回数を増やし、受診率の向上を図りたい。

Q 出産前後は乳がん検診を受けられないが、対策は。

A 出産等で受診のタイミングが合わない方もいる。4月から翌年2月まで受診できる医療機関を案内したり、電話やメールで問合わせを受け付けているので、利用してもらいたい。

商工費

f・Bizモデル

Q f・Bizモデルの進捗と方向性は。

A 商工会と車の両輪となり実施する。5月にセンター長を公募し、今年度から年度にオープンする予定である。

土木費

旧国立駅舎管理運営事業

Q 旧国立駅舎をまちの魅力発信の拠点とするところがあるが、どのような事業か。

A 日常時には待ち合わせや、憩いの場に、非日常時にはイベント会場に。また、市の歴史・文化・芸術を発信する展示室、まちの魅力等の情報を提供するまち案内所の機能を有する。

福祉有償運送事業

Q 利用者が介助者を用意できないときの対応は。

A 運転手とは別に介助者の同乗が必要であるため、介助者ボランティアの斡旋や介護タクシー事業者との連携を検討する。

地域交通施策事業

Q 運行経費補助金3千171万4千円の算出方法、用途等は。また、交通不便地域の解消策は。

A 運行経費補助金の内訳は、くにっこが2千246万4千円を立川バス株式会社へ、あおやぎっこが925万円を有会社社銀星交通へ支払いを予定している。交通不便地域については、ニーズ調査の結果を踏まえ、施策を検討する。

消防費

災害応急対策事業

Q フェーズフリーの考えに基づき、リチウムイオンバッテリーや排水ポンプ購入のための予算が組まれたが、その内容は。

A 排水ポンプ1台、リチウムイオンバッテリー11台を購入する。平常時はイベントや訓練等に、災害時は指定避難所などで非常用電源として活用したい。

教育費

新給食センター整備事業

Q PFI方式のメリットは。

A 無駄がない使い勝手の良い施設・設備ができる。また、民間事業者の経験、ノウハウを取り入れ、給食の質をさらに高めたい。財政的には、15年間で1億5千万円の効果がある。

削減効果額は7千857万9千円ではないのか。

A 15年間の長期分割で割賦する形で計算すると、1億5千万円になる。

SDGsに基づく、子どもと食と農と環境と教育をつなぐ総合食育センター機能を発揮する給食センター整備のための調理員が果たすべき役割は。

A 調理員の果たすべき役割は非常に大きい。調理員がその全てを担うことにはならない。学校教育課程での取り扱いも十分尊重したい。

特別会計予算案の主な質疑

国民健康保険

Q 滞納による差押えが低所得者に偏っていないか。

A ここ数年で収納率も伸びた。滞納金額の多い低所得層にも着手でき、結果的に件数が増えた。

Q 短期被保険者証を郵送せずに、窓口等に留め置きしていないか。

A 納付相談等に来ない、納付確認ができない方を対象に留め置きしている。今後は柔軟に対応し、郵送していきたい。

介護保険

Q 高齢者福祉の取り組みについて、長期間の施策を今後どのように算化するのか。

A 高齢者食事サービス事業費、生活支援体制整備事業費など複合的に関連づけて取り組む。

国民健康保険特別会計予算案

介護保険特別会計予算案

後期高齢者医療特別会計予算案

下水道事業会計予算案

◇ 4つの予算案も審議の結果、すべて可決しました。

着実に行財政改革を進め、健全で持続可能な財政運営を 公明党 3名 賛成

令和2年度国立市一般会計予算並びに各特別会計予算に賛成する。一般会計予算は15億円増の319億円余りとなったが、市税は減を、普通交付税は不交付団体となることを見込んでおり、厳しい財政状況での予算編成となった。消費税率引き上げに伴う消費税交付金のうちの税率引き上げ分は社会保障費に充当されることが確認できた。人件費2億円増は会計年度任用職員制度の導入による。会計年度任用職員

の役割は大きく活躍を期待する。民営化や外部委託、AI・RPAの導入を進め、行財政改革の取り組みが着実に進むことを期待する。パートナーシップ制度導入事業、旧国立駅舎管理運営事業、中小企業支援事業、産後ケア事業、がん検診受診率向上事業、災害応急対策事業、期日前投票所の新規開設など、多様な市民ニーズに応えた市民サービス向上の事業が多数予算化されており、評価する。

国立の新たな歴史に繋がる魅力あるまちづくりを! 新しい議会 2名 賛成

令和2年度の予算は、持続可能な魅力的なまちづくりの第一歩となる前向きな編成と考える。待機児童対策に加え、産後ケア事業、幼児教育プロジェクトなど、選ばれるまちになるための要素を充実させていることを評価する。災害応急対策事業では、地震や台風にも備えるとともに、感染症対策も視野に、薬用石鹸など備品の購入をお願いしたい。再築された旧国立駅舎にピアノを置

き、「文化と芸術のまち」として市内外へアピールすることで、国立ブランドを高め、賑わいや集客に繋がるものと考えられる。大学通り商業地区の都市景観への配慮を促すガイドライン作成とともに、大いに期待する。新型コロナウイルスの影響は計り知れず、必要とあらば補正予算を組んでも住民を救うという覚悟と柔軟な行政運営をお願いして、すべての会計予算案に賛成する。

子どもの生きる力の基本となる食のビジョンなきセンター建設反対! こぶしの木 1名 反対

市長として、女性・男性・多様な性の平等条例と、人権・平和基本条例の先駆的条例を当事者と共に作り、公民館の直営と無料を守ると明言したことは高く評価する。しかし、給食センター建て替えにつ

いては、これまで関わってきた保護者や市民の意見を聞かず、全国の8割の市町村で作成している食育推進計画も作らないまま、15年間で調理等の運営委託を決めたことは重大な問題。調理・配膳は手放すな。

コロナ対策、市民の生命・生活を守るため大胆な財政出動を! みらいのくにたち 1名 賛成

教育・医療・行財政改革、3つの施策をしっかり行うべき。予算、平時であれば、財政均衡は当然である。しかし、今は平時ではない。コロナ対策、市民生活を守るため、大胆な財政出動を強く要望する。市職

員が休校などの対応に尽力したこと感謝する。コロナとの長い闘い、市が最後のセーフティーネットである。職員の感染予防に力を尽くす中、市民の生命・生活を守る努力をお願いする。

市民ニーズにあった施策の遂行のための企画事業費の出費が増える 樹木の会 1名 賛成

市長の施政方針に沿った施策事業で展開され、歳入では市税が微減、地方消費税、国等の支出金は増加見込。歳出では、民生費が認可保育園の新設に伴う保育所運営委託料や障害者福祉サービス、街路等LED化工事費、教育で

は市立第二小学校改築実施設計や六小の屋内運動場の空調整備工事費、市立学校給食センター設置の整備事業費の計上、会計年度任用職員制度の報酬、期末手当の負担増がある。

教育よりコスト削減、地域より大手企業体では豊かな未来はない! 耕す未来@くにたち 1名 反対

50年間、地域で育まれてきた学校給食(直営)が終わる。大手企業体に15年間、約50億円の市税を流し込むPFI方式を選んだ永見市長の責任は厳しく問われるだろう。約1千200万円の賃料を60年

払う新給食センター予定地も「洪水ハザードマップ」3mの浸水想定区域にある。これでは、子どもの健やかな心身の成長を願う最善の策とは言えない。PFIありきで進めた予算編成に抗議し、反対する。

成果を上げる具体的な取り組みを!! 立憲民主党 1名 賛成

学校教育における校務支援システムの導入や環境問題対策の中でも市内の温室効果ガスの排出削減対策として、民生部門へは目標だけでなく実質的な削減を。医療的ケアが必要な子供に対して保育

園や小学校での副籍交流を進めたことは評価するが、学童への移動支援は根本的な解決に至っていないこと、医療型の児童発達支援事業所が市内にないことなど課題を認識し取り組むことを要望する。

# 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関する市の取組状況について報告がありました

【各常任委員会】

## こんな質問がありました

### 総務文教委員会

Q 国立市でも一律休校ということになっているが、市民要望として、自主登校が要望されているが、どう考えるか。

A 国内の新型コロナウイルス感染症の状況について、感染状況は変わっていない。現在のところ、状況改善がないところから休業の緩和等は考えていない。

Q 親子ともにストレスがたまっていくと聞けるが、校庭開放など工夫はできないのか。

A なるべく開けるところは開けていきたいが、濃厚接触を避けながら対応できるか検討していく。

Q 長期間の対応が求められる可能性があるが、どうか。

A 一度終息しても、緊張感を抜かず状況を見守っていく。

Q 公共施設で感染者が発生した場合、管理はどうするのか。

A 都保健所の指導を踏まえて、判断、実施をする。

Q 要保護児童だけではなく、虐待の可能性について、どう考えているのか。

A 子ども家庭支援センターなどで把握しており、必要に応じて家庭訪問や電話対応を行っている。

Q 休校中の学習はどうなっているか。

A 各校により違うが、プリント配付や学習範囲の指定などで対応している。

Q 授業の遅れについてはどう取り戻すのか。

A 全体の学習で一斉に行い、必要に応じて個別に対応していく。

Q Q&Aコーナーという形で情報提供するのは良かったと思うが、今後もこの対応が必要ではないか。

A 先の台風19号の課題も踏まえたうえで、情報発信を心掛けた。今後もホームページでの情報発信に取り組んでいく。

### 建設環境委員会

Q 中小企業支援として国が支援を始めたが、相談は来ているのか。

A 支援に関する相談や届け出は来ている。収入減などの声も届いている。

Q コミュニティ施設等の利用自粛について、どのような実態か。

A この間、予約の1割2割がキャンセルという実態である。

Q コミュニティ施設等に手指消毒用アルコールなどは備えられているか。

A 各施設に配備できている状況ではない。一部の施設について在庫で対応している状況だ。

Q 民間事業者ではアルコール消毒できるものが足りないという声が聞こえている。容器自体はあっても中身がないなど、悩んでいる状況だが、行政として何らかのアクションができるのか。

A 現状マスクがかなり不足しているということ、消毒液自体も流通が滞っているというように話も届いている。行政としても備品を様々なつながりを通じて、日々相談をしているが、関連業者からも検討させてほしいという話を伺っている。東京都にも相談をしているので、多角的に今後対応を検討していきたい。

Q 現状市内の様子を見ると商店街のお客がとも少ないように感じる。国立市としてどのような状況があるのか。

A 公共施設に関しては、学校休校や利用自粛があり、子どもたちがどういった生活を送っているのか、不安や課題はないのかということを見て回った。学童や幼稚園など濃厚接触が生まれにくいような形で様々な工夫をしていると感じた。

Q 国立市独自でできる要望は少ないのか。

A 国立市としては、国や都の融資施策が充実しているため、利子の補給といったことを検討していきたい。

Q この間の自粛について国の指導に従ってやっているのか。また市独自で期間の設定・解禁をするということなのか。

A 特段国の指導があったわけではない。自粛についても状況を確認していきたい。

Q 市独自の乗せ融資政策についてどう考えているか。

A 東京都の融資制度の利息分に関して、上乗せを検討している。

Q フリーランスの賃金補償が約半分になっているが、市に問い合わせはあるか。

A 市には寄せられていない。

Q 市内学童の利用率が5割ぐらいということだが、マスクや消毒剤などは足りているのか。

A 子ども用マスクは品薄のため、各家庭で準備していただいているが、必要に応じて提供している。消毒剤については、何とか足りている状況である。

Q 民間でも子どもの預かりを行っているところがあるが、物資状況は。

A ファミリーサポートセンターや一時預かりの場などについて連絡を取り、必要に応じて渡せるような体制にしていく。

Q 医療機関については、マスクの備蓄開放を行ったが、介護・しょうがい分野についてはどうか。

A これまでに配布は行っているが、今後についても都や国から届き次第、配布していく。

Q 医療機関等からマスク不足の声があった場合、備蓄を開放すべきでは。

A 緊急性が高い場合には、対策本部で確認して対応する。

Q 市内在住の看護師から消毒液が足りないという声がある。市の対応はどうか。

A 消毒用アルコールについては厚労省でエタノールジェルを配布するという情報がある。市としても調達に努めているが、配布できるほど調達できないという状況である。また滅菌ガーゼ等も不足している

と聞いているが、市で少量確保している分を早急に配布していく。

Q 学校休校に伴って、給食も止まっているが、どのように子どもの食を確保していくのか。

A 子ども家庭支援センターで支援している家庭へ、個別対応を行いつつ対応していく。

Q 補正予算で防護服を購入するということが、国立市では足りるのか。

A 保健センターで87着購入している。今後どのような推移

になるかであるが、今回の補正予算で増量する予定である。

Q 子育てひろばの利用状況は。

A 平常通り開所しており、他市から利用しに来ている方、自粛している方等の関係で例年どおりという状況である。

Q 福祉と保健と医療の連携が試されるときだが、今の課題は。

A 子どもの居場所を確保していくとともに、今回高齢者とのつながりが途絶えた状況があり、今後どのようにつなぎ直すかが課題である。

Q 学童に通っていない子どもたちのためにも校庭開放を行ってほしい。市と教育委員会連携をとっていただきたい。

A 教育委員会とは連携を取らせていただいているが、しっかりと今後も話をしていく。

## こんな意見がありました

### 総務文教委員会

● 緊張感を抜かず長期間、対応していくのは大変だが、担当職員の体調管理もしっかりと行っていく、対策予算が必要となったら補正予算を出し、必要な対策をとっていただきたい。

● これから先、学校休業が続けば様々な課題の対応が必要だ。国立市として今後丁寧に対応が必要かということ等を想定していただきたい。また、給食費の返還や授業日数の確保など様々な課題があり、学校の未修部分の問題もある。どのように保障していくのかをしっかりと考えて対応していただきたい。

● この間、行政が職員一丸となって取り組んでいると考

えている。コールセンターの設置など体制づくりとして非常に有効だった。また、災害級の事態になっていると認識しているが、市の取り組みとして先が見えないというところだが、今後も市民のために努力をお願いしたい。

● 今一番重要なのは、適切な情報伝達だと考える。市として正しい情報を的確に発信していただくことや、速やかに情報提供しなくてはいけないことなどを適切に伝達していくことを今後もお願いする。

### 建設環境委員会

● 現在マスク・消毒液・トイレトーパー等が店頭から消えており、店頭にあってもすぐ無くなってしまふ。市役所でマスクなどを配布するなど検討してほしい。また、学習機会の保障について補習も活用してほしい。

● ある程度国の方針に従ったほうがいいのではないか。各自治体の判断でクラスターを発生させた場合、責任がとれるのか。国の判断で解禁というなら良いと思うが、自治体独自で自粛規制の撤廃はやめていただきたい。

● 今後も、電話連絡や相談など積極的に続けていただき、子どもの虐待などが増えないよう努めていただければと思う。

● 市のコールセンターの周知がされていない。合わせてホームページも情報にアクセスしやすい構成を求め。また医療状況も含めて中長期的な視点をもって対応してほしい。

## 市長施政方針表明に対する 会派代表質問(要旨)

会派の構成人数により質問時間が異なるため、文字数に違いがあります。

☆市長施政方針表明の全文は市のHP、抜粋は市報4月5日号をご覧ください。

### 増税から市民の暮らしを守る市政に 日本共産党

- Q市長は日本政府に対し核兵器の禁止条約の署名と批准を求めるべきと思うが。
- A我が国の立場は被爆国として核保有国と持っていない国との橋渡しをするという、実現を通して核のない平和な社会づくりに貢献する。
- Q特別養護老人ホームの整備を進める必要があると思うが。
- A施設を設置していく状況にはない。
- Q子どもの医療費助成制度の拡充を進めるべきではないか。
- Aすぐにという答えはできにくい。
- Q富士見台地域のまちづくりは、団地の建て替え、公共施設の複合化、再開発は行うべきではないと思うが。
- A富士見台地域の資源とニーズを重ね合わせてまちづくり構想を策定する。

### まちの価値を高める具体的な施策を 新しい議会

- Q個人や個店を支えるf-Bizを導入したことは評価されるが、旧駅舎の再築を機に、駅周辺の看板を統一化していくなど、トータルでまちの価値を高める施策が必要ではないのか。
- A非常に大事なこと。その第一歩として景観計画を変えて、市民が共感を持てるような環境づくりをしていきたい。
- Q子どもが将来の夢や希望を実現するために、経済的な課題を持つ家庭への支援をどのように行うべきか。
- A親への経済的支援になりがちだが、子どもが将来にわたって生計を立てていく基礎となる教育環境、教育支援が最も重要だと思っている。

### 「人間を大切に」市政の実現を！ 耕す未来 @ くにたち

- Q管理職のジェンダー不均衡を問う。
- A明らかに不均衡である。是正の努力をする。
- Q非正規雇用職員の待遇は「会計年度任用職員制度」で改善されるのか。
- A新たな手当等の財源は確保する。
- Q自殺予防等 J R 国立駅の遅れている安全対策に、真剣な折衝が必要だ。
- A地元負担解消を含め交渉していく。
- Qハザードマップ3m浸水想定区域に新学校給食センター建設は大変不安である。
- A(時間切れで答弁なし)

### 永見市長1期目3年間の総括を問う 公明党

- Q市長就任直後の市政方針の総括は。
- A地域包括ケアの推進や女性と男性及び多様な性の平等参画に関する条例を制定するなどの政策を実施した。
- Q産後の不安定な時期のケア等どのように寄り添うのか伺う。
- A来年度から子育て世代包括支援センターを開設し、機能強化を図る。
- Qフェーズフリーの視点が新たな公共施設の建設の際に必要と思うが、どうか。
- A公共施設の建て替えのときにはフェーズフリーの観念を入れていきたい。
- Q旧国立駅舎再築は、一般財源を使わずに工事を進めてきたが、総括を伺う。
- A国の交付金や市民等からの寄付金で再築した。一般財源は使っていない。
- Q子ども医療費助成の所得制限撤廃を中学校3年生まで拡大する見通しは。
- A拡大にはおよそ2千万円かかる。どうやったらできるかを考えたい。

### 食と農と環境をつなぐ学校給食を こぶしの木

- Q旧国立駅舎内に市民が使えるトイレがないが、市長はそれでいいのか。
- A旧国立駅舎両側の土地と西側の交換時に壊す公衆トイレとセットで考えたい。
- Q国立市には食に関する政策がない。給食センター建て替えについて、SDGs推進の視点で再度見直すべきでは。公民館や図書館、社会教育を守るのか。
- A文教地区の活動を社会教育が支えた。その価値は、十分承知している。しっかり守る。

### 安心して暮らせるまち国立の創出とは 樹木の会

- Q地域包括ケアの推進で家族の思いに応える行政の支援施策については。
- A在宅介護支援に始まり地域包括ケアの推進から本人が望む生活支援へ移行。
- Q地域の子育ち・子育て支援としての産後ケアのための母子保健機能の充実とは。
- Aデイサービス型や宿泊型、アウトリーチ型等の3つの手法で支援していく。
- Q幼児教育における幼稚園への支援策は。
- A園児確保のため幼稚園フェア開催と保護者に向けたパンフレット等を作成。

### 施政方針は新しい言葉で具体的に 社民・ネット・緑と風

- Q平和首長会議が求める核兵器禁止条約の早期締結を求める署名を市報を使って呼びかけたらどうか。
- Aご提案があったことを含め検討する。
- Q施政方針には、子ども基本条例の目的が全く書かれていないが目的は何か。
- A子どもの生きやすい環境を作り、子どもの発言が活かされる条例をつくる。
- Q地球温暖化防止対策を自治体として率先して進めるべきではないか。
- A市が率先して見える形でやるべきというご意見、私も必要と考えている。契約更新に向けて十分検討する。
- Qフルインクルーシブ教育を目指すとしているが、二中に開設する情緒固定学級というのは、ネーミングが悪いし、フルインクルーシブ教育とそぐわないように思うがどのように考えているのか。
- A必ずしも適切な名称ではないと考える。気をつけていきたいと思う。
- Q街中にピアノを置いて自由に弾けるプレー・ミー・アーム・ユアーズは国立に相応しい企画だったが、継続する予定はないのか。
- A費用面で困難なので、市民参加できる形を財団と一緒に考えていく。
- Q仮称国立版f-Bizは個店や、中小企業を支援する良い企画である。代表の小出氏は国立のポテンシャルをどのように評価しているのか。
- A一橋大学に商科系の学生がいるので、活性化が期待できる。都内で初めての試みなので良い人材が集まりそう。街のアクセスがとても良い。
- Q施策評価の評価基準は何か。
- A事務事業を全てやった上で、施策全体の効果に対する貢献度を評価する。

### すべての子どもを取り残さないまちに みらいのくにたち

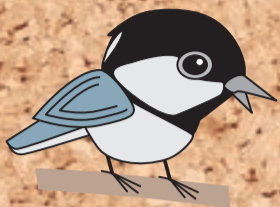
- Q子どもにやさしいまちをつくるために、子どもに投資し、すべての子どもを取り残さないまちをつくるため、子ども基本条例の制定を繰り返し要望してきた。市は、条例の制定をめざす方向を打ち出した。実効性を伴う条例が必要とのことだが、実効性とは何か。
- A子どもが尊重され、生きやすい、活躍しやすい、意見が尊重されるまちをつくるため、さまざまな施策と結びつける条例を考えていきたい。

### 南部地域整備及び次世代育成について 自由民主党

- Q区画整理以外ほとんど事業が進展していない南部地域における南武線高架化と今後の事業展開について。
- A着工準備採択から事業着手まで5~6年、工事期間は10年以上と言われており、順調に行って令和20年頃の完成というのが現在の展望である。
- Q谷保駅・矢川駅南口整備の考えは。
- A矢川駅については、平成28年より地元地権者が主体的に勉強会を開催し、面整備等の地域課題を話し合っている。市としても現況調査を行い、構想を作成し、地権者に示していきたい。また谷保駅南口については、一番のネックが天神前踏切と谷保駅周辺の東西道路であり、今後は都市計画マスタープランにある住宅商業複合地としての整備を進めるため、機を捉えて地元に入っていきたい。
- Q南部地域への回遊性はどうするのか。
- A谷保天満宮・南養寺や本田家といった歴史的財産を旧国立駅舎等を通じて広く市民の皆様へ発信し、回遊の機会をできる限り作っていきたい。
- Q市長の考える次世代育成における幼児教育先進市とは何か。
- A幼児期教育の中核を担ってきた幼稚園に対し、使い勝手の良い形での入園補助金や就園費用の増を続けるとともに、幼稚園フェアを開催し価値を知っていただく努力をしていく。
- Q他市との差別化とそのアピールは。
- A国立市は幼児教育を大変よく行っていると言われており、本当に幼児教育を大切にしているという点をしっかりとアピールし、幼児期の教育環境の整った国立市で子育てをしたいと思われるようにしたい。

### 永見市政の真髄は何かを問う！ 立憲民主党

- Q佐藤市政の継承とは、結局何だったのか。
- A人間を大切に。あるいは平和。旧国立駅舎の再築。南部地域の整備。医療計画の策定による地域包括ケアの充実。
- Q職員の能力開発への取り組みは。
- Aモチベーションが向上するように自己申告をさらに具体化した異動提案優先制度の運用。制度充実による保証。現場での経験だけでなく、基礎的な研修と能力を発展させる研修の充実である。



# 国立市議会

# 意見交換会 を開催しました

- 令和2年2月7日(金) 市役所3F会議室 来場者数12名
- // 2月8日(土) 北市民プラザ 来場者数24名

当日は、たいへん多くの方にご参加いただきました。  
 いただいたご意見は委員会ごとに報告書にまとめ、議長から市長へ渡します。  
 詳細は、国立市議会ホームページに掲載されている意見交換会報告書をご覧ください。



## 下記のテーマについて、ご意見をいただきました

- 総務文教委員会  
公立小中学校のプールの集約化について
- 建設環境委員会  
令和2(2020)年4月4日(土)にオープンする旧国立駅舎の活用について
- 福祉保険委員会  
福祉の視点で災害を考える



## ■手話通訳を実施しています■



意見交換会は、申し込み不要で、手話通訳の方に来ていただいております。



次回は、「第43回国立市農業まつり」にて意見交換会を行う予定です。  
 開催日等の詳細については、決定次第、ホームページ等でお知らせいたします。

## 編集後記



令和2年最初の定例会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止とともに始まりました。  
 不安と混乱の中、何よりも市民の皆さまの安全を最優先に、市議会として何が出来るか議員全員で考え、一般質問の取りやめを始め様々な対策を講じ、全ての議案を審議することができました。  
 未だ予断を許さない状況ではありますが、困難を乗り越えられるよう、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

## 知ってる？市議会あれこれ



### あまり知られていない編

市議会議員が守ることはたくさんありますが、ここではいくつかご紹介いたします。

#### 議会中は庁内で待機する

急な会議の開催に備えて、休憩時間や昼休みであっても、なるべく庁内で過ごします。

#### 都外に出るときは届け出る

緊急の議会の招集に備えて、議会開催日以外でも都外へ出るときには、事前に届け出なければなりません。神奈川県や埼玉県といった近郊でも！

#### 議員バッジの着用

議員就任時に議員バッジが渡され、議会等の開催中は着用しています。議員の胸元に注目！